

平成30年度事業報告書

平成30年度は北海道胆振東部地震や西日本集中豪雨、また、相次ぐ台風の上陸等による自然災害が多発し、農業全般にわたり大きな影響を受けました。また、世界経済情勢においては、TPP11や日EU・EPAの発効等で自由貿易化に向けて大きく舵がきられ、食を支える農業の構造改革が迫られています。とりわけ和牛肉においては、海外からの評価も一層高まり、牛肉輸出額は過去最高額を記録し、順調に伸びた一方で、輸入牛肉も大幅に増加する傾向がみられ、今後の動向が懸念されます。このような中で、重点課題であった生産基盤の強化については、畜産クラスター事業や地域の生産振興策の後押しもあり、回復基調に向かっていますが、もと牛不足の解消には至っておらず、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）等の各種対策が講じられているところですが、経営の先行き不透明感が続いています。

さて、去年は新しい時代に相応しい第12回全国和牛能力共進会の概要が示され、最終比較審査会場と会期、また、開催テーマ「和牛新時代 地域かがやく和牛力」が決定されました。テーマに盛り込まれた目的に即して全共出品区分の見直しが行われ、和牛の新たな価値観の醸成に努めていくスタートの年となりました。

このような中、登録事業においては、基本本原登録頭数が73,742頭で前年対比3,999頭増となり、年間の登録頭数としては5年連続で増加し、子牛登記頭数についても487,287頭で前年対比30,910頭増となりました。関係団体の各種施策が功を奏し、新規参入や規模拡大により、生産基盤強化の兆しが見えました。また、高等登録も前年対比131.2%と増加し、優良雌牛確保の状況が窺えました。

育種改良事業においては、全共出品区として新しく脂肪の質評価群が設定されたことにより、21道府県において脂肪の質に関する育種価評価を実施することができました。今後は、この育種価を種牛造成等にどのように利活用していくのか検討が必要です。また、現場後代検定法の検定結果一覧には、参考値として脂肪の質測定値を表示することが決定され、従来の枝肉6形質以外の美味しさの能力指標としての活用が期待されます。さらに、ゲノミック評価については数年前から着手しており、産肉形質については各県の実施する事業と協力した形でその検証作業を進め、生産効率に係わる形質については各種事業を活用しつつ、現場での活用に向けて検討を進めているところです。

また、育種・改良事業については、育種組合現地検討会等の機会において、地域の特色ある牛づくりの調査検討など遺伝的多様性確保につながる活動に取り組みました。和牛改良組合については、全国の中で繁殖成績が優秀な改良組合の表彰を継続して行い、各組合の生産性向上への意欲向上につなげました。さらに、ブロック別に改良組合育成強化研修会を開催し、多くの参加を得て、改良組合活動の活性化と相互交流を図りました。恒例となった女性部研修会については、地域に根差した形での多様な和牛経営体験を紹介いただき、大変有意義な研修会となりました。

技術者養成研修事業については、認定講習会、和牛入門ゼミナール並びにブロック別地方審査委員会などを予定どおり開催し、育種・改良問題セミナーでは、遺伝的不良形質にかかわる分析と遺伝的多様性の確保に向けたSNP情報の活用
の2つのテーマについて、調査報告を行いました。とくに、遺伝的不良形質については、損徴の発生に関しての遺伝的分析によるアプローチが試みられ、今後の遺伝的不良形質の排除・発現の抑制への応用が期待されます。

運営管理の部については、会員数は48,492名（前年対比97.4%）で1,276名の減となり、会員の減少傾向は続いており、担い手の育成と確保は喫緊の課題となっています。農家を会員として昭和23年3月に発足した全国和牛登録協会は70年を迎え6月に創立70周年記念式典を開催し、神戸大学大学院農学研究科大山憲二教授による「これからの和牛が歩む道」と題する特別記念講演に続き、また、107名の登録事業功労者の表彰が行われました。式典には、農林水産省他中央関係団体から多くの来賓を迎え、会員および和牛関係者とともに和牛登録事業70年の歴史と改良に果たした役割を再確認することができました。今後とも会員農家の付託に応え、和牛の能力向上に努めていきたいと考えます。

この他の事業につきましても、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により予定通り実施することができました。

I. 事業の部

1. 登録・検定事業

1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計75,261頭（前年度比106.1%）、前年度実績比4,360頭の増加でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	41,801	31,815	1,519	75,135 (106.2)
褐毛和種	104	17	0	121 (87.1)
無角和種	5	0	0	5 (83.3)
計 (前年度比)	41,910 (105.7)	31,832 (105.8)	1,519 (131.2)	75,261 (106.1)
前年度実績	39,663	30,080	1,158	70,901

子牛登記頭数は487,287頭（前年度比106.8%）で、前年度実績比30,910頭の増加でした。また、血統証明書発行件数は3,198件（前年度比103.3%）でした。

2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	(0.0%)
産肉能力検定 直接法	95 件	85 件	(111.7%)
" 間接法	0 件	0 件	(0.0%)
現場後代検定法	111 件	114 件	(97.4%)
遺伝子型調査	57,696 件	52,543 件	(109.8%)
" (再交付)	1,576 件	1,481 件	(106.4%)
" (不良形質)	595 件	524 件	(113.5%)

3) 現場後代検定合同調査会の開催について

各道府県における特徴ある種雄牛造成の推進及び若い種雄牛の発掘を目的に、平成 31 年 2 月 14 日から 15 日の間、京都府京都市において現場後代検定合同調査会を開催しました。12 道県から 13 頭の種雄牛の後代 42 頭（去勢 29 頭、雌 13 頭）が出品されました。また、シンポジウムは、「新たな牛肉の価値観の構築」というテーマを掲げて開催しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会にも必要に応じて助成並びに指導を行いました。

2. 育種改良事業

1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。なお、育種牛認定頭数は雄 26 頭、雌 613 頭（新規 434 頭、再認定 179 頭）となりました。

びらとり(10/27)、いわて和牛中央(6/26-27、10/4)、みどりの(3/5)、栗原(3/6)、登米(3/7)、由利(3/26)、飛騨地区(2/28)、美方郡(8/20)、城崎(8/21)、淡路(8/22)、広島県(2/27)、北松地区(2/22)、壱岐市(2/20)、五島(2/21)、玖珠・豊肥・由布市(3/15)、宮崎市(10/30)、東諸県郡市(10/30)、南那珂(10/31)、西諸県郡(11/1)、都城(11/2)、肝属(12/4)、曾於(12/5)、始良(12/6)、薩摩(12/18)、鹿児島中央(12/19)

2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は 460 組合となりました。また、効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮への取り組みが重要となっています。これらの取り組みが、更なる改良組合の活動強化と組織の育成強化につながり、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

(1) 和牛改良組合育成強化研修会の開催

本研修会は、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の

小集団活動のあり方や個々の農業経営強化に努めるとともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催し、改良組合が抱えている問題点の解決の一助となりました。また、研修会は次のとおりブロック別に開催しました。

地 区	会 場	期 日	参加者数
東部地区	栃木県那須塩原市・矢板市	11/8～9	70名
中部地区	新潟県長岡市	11/19～20	79名
中四国地区	広島県庄原市	3/11～12	70名
九州地区	宮崎県宮崎市	9/25～26	86名

(2) 和牛改良組合女性部研修会 3月4日 (58名)

和牛改良組合の女性部を対象に、和牛改良の知識習得を図り、和牛生産を支える女性の交流を深めることを目的に開催しました。

(3) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計20回の開催助成と講師の派遣を行いました。

(4) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部5組合が表彰されました。

3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。また、産肉情報については支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業についても取り組みました。牛肉の美味しさに関する調査については、「和牛の遺伝的多様性等活用調査研究事業」「牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業」等を利用して、随時サンプリングを実施しました。また、SNP情報を用いた遺伝的多様性の検討や経済形質にかかわる育種・改良方法の検討を行うために和牛DNAデータベースの構築に努めました。

なお、本年度は産肉情報入力0件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報108,464件）、情報解析（年間）17件、情報解析（1回）36件でした。

4) 優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会と連携して育種価に基づく高能力牛の保留を強化するとともに、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝子（DNA）の保護・管理を行える体制づくりに努め、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動に協力し、和牛の遺伝資源としての重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会	平成 30 年 4 月 13 日
育種推進委員会	平成 30 年 6 月 21 日
産肉能力検定委員会	平成 31 年 1 月 25 日
産肉能力検定小委員会	平成 30 年 4 月 27 日、平成 30 年 9 月 21 日
和牛改良組合強化委員会	平成 31 年 1 月 24 日

3. 技術者等養成研修事業

1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり 4 会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第207回	9/11～9/13	福島県田村市 福島さくら農業協同組合畜産センター	20名
第208回	10/24～10/26	北海道勇払郡安平町 ホクレン南北海道家畜市場	27名
第209回	11/5～11/7	長崎県壱岐市 壱岐家畜市場	32名
第210回	11/14～11/16	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	31名

2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第15回	4/24～4/25	兵庫県加西市 神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター	17名
第16回	5/9～5/10		30名

3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/9～10/12	福島県西白河郡 独立行政法人家畜改良センター中央畜産研修施設	29名
西日本	12/9～12/12	広島県三次市 全農ひろしま三次家畜市場	40名

改良の基礎研修

講義の部	期間	会場	受講者数
全体	7/3～7/4	京都府京都市 全国和牛登録協会	73名

4) 支部・支所職員事務研修会の開催について 7月9日～10日 (39名)
登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。

5) 第24回和牛育種・改良問題セミナーの開催について
平成31年1月11日 (43名)
育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象として、遺伝的多様性及び遺伝的不良形質にかかわる調査報告を行いました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議 平成30年12月7日 (第72回)
登録協議会 平成31年1月24日 (第72回)

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、ブロック毎に開催し、平成30年度事業の実施計画等について説明し、審査眼の統一を図るために審査研修を行いました。

ブロック	期 日	会 場	参加者数
東部地区	5/22～5/23	宮城県松島町・美里町	116名
中部地区	5/24～5/25	富山県富山市	60名
中四国地区	5/29～5/30	広島県庄原市	114名
九州地区	5/31～6/1	佐賀県嬉野市・多久市	198名

4. 普及啓発事業

1) 第12回全国和牛能力共進会について

第12回全国和牛能力共進会の基本計画および出品条件の詳細策定のためのプロジェクト会議(7/30、10/15)を開催しました。また、第12回全共第1回全国連絡協議会(1/24)を開催し、共進会の概要及び最終比較審査会場までのスケジュール等について説明を行いました。

2) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

3) 高校生を対象とした家畜審査競技会について

第69回日本学校農業クラブ全国大会鹿児島大会における家畜審査競技会(10/23-24)及び各県単位で取り込まれる家畜審査競技会に対して審査委員を派遣するなど支援を行いました。

4) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認システムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に寄与しました。

5) 各種刊行物

- (1) 登録簿 7巻（基本3巻、本原3巻、高等1巻）
※電子媒体（DVD）にて発行
- (2) 和牛誌 4冊（69巻1号～4号）
- (3) 和牛だより 1回（第48号）
- (4) 和牛産肉能力検定報告書
（平成29年度直接法、平成29年度承認分現場後代検定法）

5. その他

「多様な改良情報の収集・分析等対策」を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力評価に活用されています。なお、国の施策に基づく「地域固有系統の再構築支援対策」、「肉用牛のDNA情報による生産性評価事業」、「和牛の遺伝的多様性等活用調査研究事業」、「牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

II. 運営管理の部

1. 会員および賛助会員について

会員数は48,492名（前年度比97.4%）、前年度実績比1,276名減少しました。賛助会員については、中央団体13団体、地方団体41団体、個人21名でした。

2. 会議等の開催について

1) 第72回通常総会 平成30年6月22日

[報告事項]

- 第1号報告 平成29年度事業成績報告
- 第2号報告 平成30年度事業計画報告
- 第3号報告 平成30年度収支予算報告

[提出議案]

- 第1号議案 平成29年度財務諸表承認の件
- 第2号議案 平成30年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件
- 第3号議案 平成30年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 役員改選の件
- 第5号議案 付帯決議の件

2) 理事会 第192回 平成30年6月5日

[審議事項]

- 第1号議案 平成29年度事業報告について
- 第2号議案 平成29年度財務諸表について
- 第3号議案 役員改選について
- 第4号議案 第72回通常総会の開催について
- 第5号議案 登録事業功労者表彰に係る被表彰者について
- 第6号議案 登録業務負担金について
- 第7号議案 第12回全国和牛能力共進会最終比較審査会場（肉牛の部）について
- 第8号議案 資産取得資金及び特定費用準備資金の設定について

[報告事項]

- 1) 平成29年度会員並びに登録関係統計
- 2) 全国和牛能力共進会について
- 3) 支部長の交代について
- 4) 平成30年度のおもな行事計画について
- 5) 創立70周年記念式典について
- 6) 本会事務局体制の変更について

第193回 平成30年6月22日

[審議事項]

- 第1号議案 会長理事、副会長理事、専務理事の互選について
- 第2号議案 顧問について
- 第3号議案 平成30年度理事報酬の決定について
- 第4号議案 規程類の一部改正について

第194回 平成30年11月29日

[審議事項]

- 第1号議案 平成30年度上半期の事業実施報告について
- 第2号議案 平成31年度事業計画骨子（案）について
- 第3号議案 平成31年10月消費税率引き上げへの対応について
- 第4号議案 社員選挙の実施について
- 第5号議案 平成30年度認定改良組合表彰について
- 第6号議案 第12回全国和牛能力共進会について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 平成29年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について

第 195 回 平成 31 年 3 月 20 日

[審議事項]

- 第 1 号議案 平成 31 年度事業計画について
- 第 2 号議案 平成 31 年度収支予算について
- 第 3 号議案 平成 31 年 10 月消費税率引き上げへの対応について
- 第 4 号議案 遺伝子型検査料金の改正について
- 第 5 号議案 登録業務負担金及び改良事業負担金について
- 第 6 号議案 社員選挙の実施にかかわる選挙管理委員の任命について
- 第 7 号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について
- 第 8 号議案 支部内部規程の改正について

[報告事項]

- 1) 和牛精液等の適正な流通管理の徹底について
- 2) 業務執行状況報告
- 3) 平成 30 年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 4) 支部長の変更について
- 5) 平成 31 年度事務局体制について

3) 監事会 1 回 (6 月 22 日)

[審議事項]

- 第 1 号議案 平成 30 年度監事報酬の決定について

4) 監査会 2 回 (6 月 4 日、11 月 28 日)

5) 公認会計士による会計指導 9 回

(5 月 1 日、5 月 18 日、5 月 28 日、6 月 1 日、9 月 11 日、12 月 5 日、12 月 10 日、12 月 19 日、2 月 6 日)

6) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

7) 創立 70 周年記念式典の開催 (6 月 21 日)

4. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事（常勤）	向井 文雄	H20.8
副会長理事（非常勤）	高橋 修	H26.6 ^{※1}
専務理事（常勤）	穴田 勝人	H28.7
理事（非常勤）	北村 健	H26.6
理事（非常勤）	小野寺 敬作	H30.6
理事（非常勤）	木内 康文	H30.6
理事（非常勤）	渡部 幹雄	H20.7
理事（非常勤）	川崎 裕司	H28.7
理事（非常勤）	栗秋 和弘	H28.7
理事（非常勤）	平木場 宗一	H20.7
理事（非常勤）	鮫島 忠雄	H30.6
監事（非常勤）	高嶺 英康	H22.7
監事（非常勤）	猪股 孝二	H27.6

※1 理事就任 H23.7

5. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平 72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森 20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地 22-1
秋田県	秋田市中通 6 丁目 7 番 9 号 畜産会館 6F
山形県	天童市長岡北 4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保 23 番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣 1836-1
石川県	金沢市古府 1 丁目 217 番地
福井県	福井市高木中央 2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良 2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田 6
京都府	京都市中京区壬生東高田町 1-15
兵庫県	神戸市西区玉津町居住 88 番
島根県	松江市殿町 19-1 島根県農林会館別館 3F
岡山県	真庭市草加部 1810
徳島県	徳島市北佐古一番町 61-11JA 会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍 1951-1
長崎県	長崎市銭座町 3-3
熊本県	熊本市東区桜木 6-3-54 県畜産会館
大分県	大分市大字古国府 1220 番地 全農大分県本部別館 2 階
宮崎県	宮崎市広島 1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町 15 JA 鹿児島県会館 7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免 1544 JA ながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触 706 JA 壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町 938 JA ごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字跡江土手外 198 JA 宮崎中央内
南那珂	串間市大字大平 5677 JA はまゆう内
都城	都城市上川東 3-4-1 JA 都城内
西諸県	小林市大字南西方 1112 西諸県郡市畜連内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原 21696-1 児湯郡市畜連内
東臼杵	延岡市櫛津町 3060 東臼杵郡市畜連内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井 1 番地 JA 高千穂地区内
曾於	曾於市大隅町岩川 5591-1 JA そお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町 17-3 大島支庁農政普及課内

6. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	埼玉県熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	山梨県中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	神奈川県肉用牛協会	平塚市土屋1275-1 全農神奈川県本部畜産部
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

平成 30 年度事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。